

学校の授業が
こんなに
変わりました!!

児童・生徒の生の声を聞いてみました



鹿屋女子高 石橋 彩花 さん (3年)

調査・発表と主体的な学習ができました

日本史Bの授業で「幕末から明治期にかけての紡績業の発展」について、ICTを活用し調査・発表を行いました。資料は図書館やインターネット等を利用して集め、それらをグループで共有し、まとめてプレゼンテーションにも挑戦しました。受け身の授業ではなく、自分がまとめたいことを発表することで理解も深まり、人に伝える経験ができて良かったです。



細山田中 大窪 虹乃 さん (3年)

みんなの意見交換が活発になりました

タブレットを使った授業は3年生の5月頃からスタートしました。初めは慣れないこともありましたが、今ではタブレットを用いて提出した自分たちの意見を大画面で共有することができ、授業が分かりやすくなりました。また、分からないことはインターネットで調べようになりました。



田崎小 津崎 蓮人 さん (5年)

宿題の答え合わせが簡単になりました

朝の時間で宿題の答え合わせをするときに、これまでは聞き取れないことがありましたが、タブレットを使うことで、答えを写真に撮って保存でき、作業が楽になりました。学校の授業も毎日タブレットを使い、先生とみんなが授業が進む感じが楽しいです。



答えを予想してタブレットで発表し、クラス全員の解答を共有。代表の人が解説を行う従来と新しい教育のハイブリッド授業!



一人も取り残さない教育へ

より効率的で分かりやすく伝わる授業ができる環境

ICT機器とアナログを上手に活用していきたいです

教育のデジタル化が一気に進み、学習指導や業務改善においてとても役立っています。例えば、学習プリントを電子化してタブレット端末で配布したり、理科の実験を動画で撮影しみんなで共有したりして、より分かりやすい授業が展開できるようになりました。タブレット端末の導入には、いろいろな配慮もありますが、全校で統一したルールを決めて、情報モラルの指導を行うことで、児童は正しく使用してくれると考えています。タブレット端末は「効率のよい」「分かりやすい」「双方向に伝えられる」ツールではありますが、全ての学習活動をそれに置き換えられるわけではありません。どの場面でも使うと効果的かを考え、取捨選択しながら指導に取り組む必要があります。例えば、文字を正しい書き順で丁寧に書くという活動は、今後も大切にされるべき活動です。そこで、ノートに書いたものを児童がタブレット端末で写真に撮り、そのデータを教師に送信するといったアナログ的な作業とデジタル機器とアナログを上手に活用していきたいです



プレゼンテーションで対話型授業!

大事なところへのライン引きもカラーで見やすく!



デジタル教科書を見ながら登場人物の心情を話し合います!



今や実験は「録る」時代に。繰り返し確認できるのでグループ内での協議もスムーズになりました!

分からないときは先生と一緒にタブレット端末を操作して進められるので安心!



「動画撮影・実験作業・記録」と係を分けて実験を行い、動画を確認して検証を行っている様子



田崎小学校 四元 大輔 教諭